

雨水タンクを設置した市民の方々の

声

ご自宅に雨水タンクを設置している市民の方々に「雨水の使い道」「意見・感想等」「ボウフラの発生」についてお話をうかがいました。皆様、お忙しい聞き取りや写真撮影にご協力いただきありがとうございました。

◆ Aさん (設置容量:150ℓ)

雨水の使い道：子供の水遊び、庭木の水やり、家の周囲の掃除、野菜の泥を落とす

意見・感想等：溜まった水は多くの使い道があると思います。雨が降ればすぐに水がいっぱいになります。

ボウフラの発生：無し

◆ Bさん (設置容量 150ℓ)

雨水の使い道：主に庭木の水やり

意見・感想等：溜まった水は、一週間弱で使い切ります。夏場はすぐになくなってしまいます。普通に水道水を使うと水道台がかなりかかってしまうため、雨水タンクがあるのとないのでは全然違います。タンクがあると便利です。

ボウフラの発生：無し

◆ Cさん (設置容量:150ℓ)

雨水の使い道：家の周囲の水まき、庭木の水やり、窓の掃除

意見・感想等：容量が大きいので使い切るのが大変です。タンク自体も大きいのでかなり設置スペースを取ります。水不足になったときは使えるのではないかと思います。あると便利というよりは、あってもいいかな、という感じです。

ボウフラの発生：無し

◆ Dさん (設置容量:110ℓ)

雨水の使い道：庭木の水やり、玄関の掃除、石段の水まきなど

意見・感想等：使い勝手が良いです。

ボウフラの発生：無し

雨水の使い道として、一番多いのは庭木への水やりでした。容量が 150ℓ 程度でもまとまった雨が降ればすぐにいっぱいになるようです。また、雨水タンクを設置するデメリットとしてよく挙げられるボウフラの発生ですが、お話をうかがったご家庭のタンクには発生していませんでした。どうしても心配な場合は、タンクの内部に銅板を入れておくと効果的です。



一例ですが、この雨水タンクは容量 150ℓ、縦 1100mm、横 750mm、重さ 17kg となっています。和光市内に設置されている雨水タンクではこのタイプのもが多く見られます。

容量 150ℓ～の雨水タンクは、ある程度の広さのお庭があったり、家庭菜園やガーデニングなど植物を育てていたりするご家庭で活躍するのではないかと思います。それほどたくさん雨水を利用しない場合は容量 80ℓ 程度でも十分だと思います。



和光市環境課
環境推進担当
TEL : 048-424-9118 (直通)